

# 朝霞地区訪問看護ステーショントピックス研修会 アンケート集計結果

【日 時】令和7年7月23日(水)18:00～19:30

【テーマ】終末期における呼吸困難の緩和ケア ～在宅でできること～

【司 会】まちだ訪問クリニック院長 坂本 圭 先生

【事前申込数】65名

【当日参加者数】55名

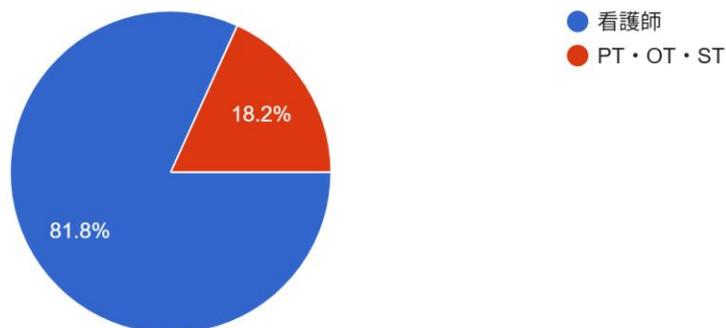
【参加事業所数】15事業所

【アンケート集計期間】7月23日(水)～7月24日(木)

【アンケート回答者数】33名(60%)

## 1. 職種を教えてください

33件の回答



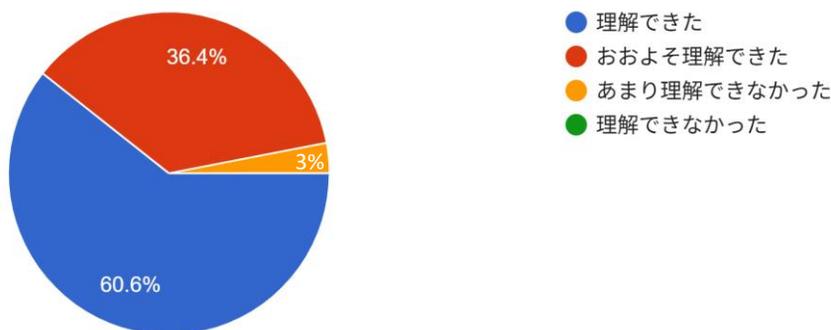
## 2. 本日の研修に参加された理由を教えてください(複数選択可)

33件の回答



### 3. 本日の研修の内容について

33件の回答



### 4. 特に印象に残った内容・気づき・今後活かしたいことなどがあればご記入ください

- ・呼吸困難に対して、送風（扇風機などを使って顔に風を送る）ことを初めて知り、非薬物療法の一つとして慢性の呼吸器疾患や終末期のがん患者の呼吸困難感の軽減にお伝えしていきたいと思いました。
- ・呼吸困難に対しての具体的な対策や視点を知ることができ、非常に学びになった
- ・呼吸リハを重要視されている事で、自分達の役割や重要性を再認識できました。
- ・扇風療法試してみたいと思います
- ・ハイフローセラピーを始めて知ったので参考になりました。呼吸困難の方を目の前にした時に今後、自分なりにできそうな事から実践できたらと思いました。ありがとうございました。
- ・呼吸困難時の非薬物療法について、送風療法・手軽に行える呼吸器リハビリ・室温を低めにする、椅子生活、分割食、前開きの服、便柔らかめなどの環境調整、会話の仕方等、すぐに取り入れやすいことが多くあり、今後活かしていきたいと思います。
- ・呼吸困難に対し、自分の仕事であるリハビリの重要性を話していただき、嬉しく今後の仕事にやりがいが出ました。
- ・呼吸困難に対する治療手段について非薬物療法でできること、またその優先順位も明言されているガイドラインがあることを初めて知れました。労作時の呼吸困難感がある患者・利用者を目にする機会が多いため、まずは送風療法ためしてみたいと思いました。
- ・呼吸困難に対する緩和はとても難しいと感じていたので参考になった
- ・楽な体位を見つけておくなどの自分ができることを知れて、先を見据えてその人らしくいられるような看護を出来ると良いなと思った
- ・在宅ハイフローセラピーについて学びになった。(2)
- ・送風療法や補助呼吸は、明日からでも直ぐに出来ることなので実践していきたいと思います。
- ・呼吸困難の評価、呼吸リハの適応について学びになった。
- ・呼吸困難のケア方法がイメージすることができました。
- ・この地域では、呼吸器にサポート（気管支のレーザーやスタンド挿入など）としてはやはり新座志木中央総合病院なのだとわかりました。在宅で呼吸器疾患であまり体調の改善しない方は、坂本先生のように、よくわかっている先生に診てもらうのが良いと個人的に思いました。また、全人的呼吸困難を緩和できるよう、在宅で過ごしている患者さんがより楽に、幸せに過ごせるよう 治療の補助、生活の支援をしていきたいと思いました。初めて、ハイフローセラピーや送風療法を知り、色々勉強になりました。参加できてとても良かったです。坂本先生、主催の皆様、ありがとうございました。

・恥ずかしながら、送風療法の効果・エビデンスの高さ知らなかったです。薬や酸素療法などの治療を拒む利用者がいますので、ぜひ勧めたいと思います。

- ・送風療法
- ・呼吸困難感の緩和のためリハビリの大切さ、ハイフローについてが印象に残った
- ・呼吸困難に対する対応とその根拠を教えてくださいました
- ・送風療法はすぐに取り入れられる。ハイフローを使用して検査結果がとても改善していたので驚いた。それにより頭がクリアになったあと患者さんに合わせて治療されていて感動した。
- ・SPO2が良好であっても報告が必要な事例など、勉強になりました。がん、非ガンともに対応する場面があるため、本日の講義の内容を、しっかり覚えて現場に向かいます

## 5. 内容や時間配分についてのご意見があればご記入ください

- ・丁度良かったです
- ・とてもわかりやすく講義して頂き、実際の現場での対応にも参考にさせて頂きたいと思います。
- ・非常にお聞きしやすかったです。
- ・開始時間はできれば19時からが希望です
- ・質問するのに勇気があるため、チャット形式の質疑応答ができると嬉しいです。(zoomで講義途中で質問を受け付けるチャットが過去の経験にあったのを記憶しています。) →今回もチャット形式での質問を随時受付ており、案内をさせて頂いていました。今後はチャットでも何度か、お知らせを入れてゆこうと思います。
- ・先生にはとてもわかりやすく説明いただきました。司会をしていただいた方もとてもスムーズでした。
- ・ちょうど良かったです。
- ・とても有意義な時間でした。
- ・在宅のできる医療を分かりやすくご講義いただきました。

## 6. 今後、取り上げてほしい研修テーマがあれば教えてください

- ・口腔、嚥下、食事について
- ・認知症に関連した講義
- ・下剤について勉強しましたが、薬の種類が多く、作用機序が難しいため、どういう人に何を使用するか選択の基準や注意点を教えてくださいたいです。
- ・終末期の疼痛管理
- ・終末期におけるコミュニケーションスキル
- ・呼吸困難のある患者への緩和呼吸リハビリの実際

## 7. その他ご意見・ご感想がありましたらご記入ください

- ・分かりやすい講義、ありがとうございました。(2)
- ・貴重な講義をありがとうございました。
- ・大変勉強になりました ありがとうございました
- ・まだ訪問看護初めて1ヶ月たってませんが、今回の講義で呼吸困難時の対応を知ることができました。今後ともさらに知識を深めていきたいです。ありがとうございました。
- ・事例も含めながらのお話で大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・訪問看護で、呼吸困難感のある患者様のケアにおいて、改めて、適切な治療や薬などで苦痛を軽減していくことが重要かと感じました。先生と密に連携をとり、方向性を共有しながら安心して在宅で患者様が過ごすことができるように今後取り組んでいきたいです。なかなか難しいと思いますが、緩和リハビリの実際も研修していただけたら嬉しいです。今日のご講義ありがとうございました。
- ・途中参加となってしまいました。アーカイブ視聴ができれば嬉しいです。→7月24日より8月迄でアーカイブを行っております。ぜひご視聴ください。